

特別活動『評価規準』

1 特別活動の目標

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的に実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
- (2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしたりすることができるようにする。
- (3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

2 学習指導要領の改訂の3つの柱と、評価の観点及び趣旨

- ◎知識・技能 …………… よりよい生活を築くための知識・技能
 ◎思考力・判断力・表現力 …………… 集団や社会の形成者としての思考・判断・表現
 ◎主体的に学習に取り組む態度 …………… 主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や、活動を行う上で必要となることについて理解している。 自己の生活の充実・向上や自分らしい生き方の実現に必要なことについて理解している。 よりよい生活を築くための話し合い活動の進め方、合意形成の図り方などの技能を身に付けている	所属する様々な集団や自己の生活の充実・向上のため、問題を発見し、解決方法について考え、話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしたりして実践している。	生活や社会、人間関係をよりよく築くために、自主的に自己の役割や責任を果たし、多様な他者と協働して実践しようとしている。 主体的に自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとしている。

(小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録島の改善について(平成31年3月29日、文部科学省通知)の別表4「各教科等・各学年等の

評価の観点等及びその趣旨（小学校及び特別支援学校小学部並びに中学校及び特別支援学校中学部）」4、特別活動の記録（1）評価の観点及びその趣旨〈小学校 特別活動の記録〉より）

3 「知識・理解」など3つの柱と「人間関係形成」など3つの視点観点

	知識・理解	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
人間関係形成	多様な人と協働して活動する意義の理解やそのための方法	お互いの意見や考えの違いを尊重し、互いのよさや可能性を生かす関係を「つくること	社会的集団における人間関係を、自主的、実践的によりよいものへと形成しようとする
社会参画	自発的、自治的な集団活動の意義や活動を行う上で必要な合意形成するための方法	学級や学校の集団の生活の課題を見だし。解決するために話し合い、合意形成を図ること	学級や学校の集団や活動に参画し、問題解決を主体的に解決することを通して、よりよい社会や生活を創造しようとする
自己実現	自己実現に必要な自己理解を深め、意思決定するための方法	自己のよさや可能性を生かし、自己の在り方生き方を考え、設計するなどの意思決定ができること	現在及び将来の自己の課題を発見し、目標を決めて取り組み、自己の可能性を拓こうとする

（「ポイント総整理 特別活動」p 29より）

4 新設された「学級活動（3）」

（1）学習指導要領改訂における基本的考え方

今回の改訂では、「特別活動を要としつつ各教科等の特性に応じて、キャリア教育の充実を図ること（第1章総則第4の1の（3）」）が示された。

このことを受け、小学校学習指導要領特別活動編の学級活動で「（3）一人一人のキャリア形成と自己実現」が設けられた。

（2）改訂前の「学習指導要領」

「学級活動（2）日常の生活や学習への適応及び健康安全」では、以下の記述である。

- ア 希望や目標をもって生きる態度の育成
- エ 清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解
- オ 学校図書館の利用（イ、ウ、カ、キは略）

（3）改訂後の「学習指導要領」

「学級活動（3）一人一人のキャリアの形成と自己実現」では、以下の記述である。

- ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成

- 学級や将来に希望や生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとすること
- イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解
- 清掃などの当番活動や係活動等の自己の役割を自覚して協働することの意義を理解し、社会の一員として役割を果たすために必要となることについて主体的に考えて行動すること
- ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の利用
- 学ぶことの意義や現在及び将来の学習と自己実現とのつながりを考えたり、自主的に学習する場としての学校図書館等を活用したりしながら、学習の見通しを立てて、振り返ること

5 観点を設定する際に

特別活動の目標は、それぞれ特質が異なる4つの内容（＝「学級活動」「児童会活動」「クラブ活動」「学校行事」）を統括したものであるから、指導要録に示す特別活動の評価の観点は、特別活動全体に係る観点になるよう留意する。

6 合意形成する活動と意思決定する活動（「ポイント総整理 特別活動」P126～）

学級活動（学習指導要領第6章の第2）に示されている目標で、「生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い。合意形成をし、役割を分担して協力して実践する活動」とは、学級活動(1)である。この活動の中核となる活動は、学級会と呼ばれる話し合い活動である。

話し合い活動における合意形成とは、児童が見いだした課題について、一人一人の思いや願いを意見として出し合い、互いの意見の違いや多様な考えがあることを大切にしながら、学級としての考えや取り組むことについて、学級の成員が、単なる「賛成。反対」だけの意見を述べ合うのではなく、それぞれの意見の意味を考えながら、最もより良い方法をみんなで解決していく方法である。

同じく目標に示されている「学級での話し合い生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践する活動」とは、自己の生活課題を解決する学級活動(2)と、将来の生き方に関する課題を解決する学級活動(3)である。

7 学級活動（1）評価規準 《例示》

	よりよい生活や人間関係を築くための 知識・技能	集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする 態度
1 ・ 2 年	学級や学校の生活上の諸課題を話し合いの進め方に沿って、自分の意見を発表したり、他者の意見をよく聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解している。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、基本的な生活習慣や約束やきまりを守ることの大切さを理解して行動し、実践している。	学級や学校における人間関係や生活をよりよくするための目標を決めて実行している。
3 ～ 6 年	学級や学校の生活上の諸課題を話し合って解決することや他者と協議して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協力して実践している。	学級や学校における人間関係をよりよくし、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとしている。

8 学級活動（2）評価規準 《例示》

	よりよい生活や人間関係を築くための 知識・技能	集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする 態度
1 ～ 6 年	日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全といった、自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解するとともに、そのために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活上の課題に気づき、多様な意見を基に、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	自己の生活をよりよくするために、他者と協働して自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。

9 学級活動 (3) 評価規準 <例示>

	よりよい生活や人間関係を築くための 知識・技能	集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする 態度
1 ～ 6 年	働くことや学ぶことの意義を理解するとともに、自己のよさを生かしながら将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自己のよさを生かしたり、他者と協力したりして、主体的に活動している。	現在及び将来にわたってよりよく生きるために、自分に合った目標を立て、自己のよさを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。

10 児童会活動 <例示>

○計画や運営は主として高学年だが、学校の全児童が主体的に活動できるように配慮。

○改訂前「(1) 児童会の計画や運営」

→ 改定後「(1) 児童会の組織づくりと児童会活動の計画や運営」

○ {例} ①問題発見・課題などの設定 → ②解決に向けての話し合い → ③解決方法の決定（合意形成） → ④決めたことの実践 → ⑤振り返り → ①……

よりよい生活や人間関係を築くための 知識・技能	集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする 態度
楽しく豊かでよりよい学校生活をつくる児童会活動の意義や組織、そのための活動内容や役割、方法などについて理解している。	楽しく豊かでよりよい学校生活をつくるために、児童会の一員として話し合い、役割や諸問題を解決する方法などについて考え、判断し、協働して実践している。	主体的に楽しく豊かでよりよい学校生活をつくるための諸問題に関心をもち、理解している。

1 1 クラブ活動 《例示》

○改訂前「(1) クラブの計画や運営」

→ 改定後「(1) クラブの組織づくりとクラブ活動の計画や運営」

○中・長期的；(1) クラブの組織づくりとクラブ活動の計画や運営

(2) クラブを楽しむ活動 (3) クラブの成果の発表

{例} ①クラブの組織づくり、計画や運営についての話し合い ②クラブの組織、役割分担、活動計画などを合意形成して決定 → ③クラブを楽しむ活動 → ④クラブの成果の発表 → ⑤振り返り

よりよい生活や人間関係を築くための 知識・技能	集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする 態度
共通の興味・関心を追求するクラブ活動の意義やそのための活動内容、方法や役割について理解している。	共通の興味・関心を追求するために話し合い、クラブの一員として、よりよいクラブづくりや計画について考え、判断し、自己を生かし協力して実践している。	共通の興味・関心を追求するために、主体的によりよいクラブ活動になるように取り組んでいる。

1 2 学校行事 《例示》

「自己の向上の意欲を一層高めること」「事件や事故、災害から身を守るようにすること」などが明記されている。

(1) 儀式的行事

よりよい生活や人間関係を築くための 知識・技能	集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする 態度
儀式的行事の意義や、その場にふさわしい参加の仕方を協働するなどについて理解している。	よりよい学校や学年の一員としての自覚をもち、新しい生活への展開や集団の場における規律などについて考え、判断し、実践している。	行事を節目としたこれからの活動に関心をもち、主体的に学校や学年の一員として厳粛な雰囲気の中で儀式的行事に取り組もうとしている。

(2) 文化的行事

よりよい生活や人間関係を築くための 知識・技能	集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする 態度
文化的行事の意義や、日頃の学習成果を発表する方法、鑑賞の仕方などについて理解している。	よりよい学校や学年の一員としての自覚をもち、美しいものや優れたもの、自他のよさや自己の成長などについて考え、判断し、協働して実践している。	文化や芸術、日頃の学習活動などに関心をもち、互いの努力を認め合い、主体的に自己を伸ばそうとする意欲をもって、積極的に文化的行事に取り組もうとしている。

(3) 健康安全・体育的行事

よりよい生活や人間関係を築くための 知識・技能	集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする 態度
健康安全・体育的行事の意義や、心身の健全な発達、事件や事故、自然災害から身を守る安全な生活、体力向上の方法などについて理解している。	よりよい学校や学年の一員として自覚をもち、自己の健康や安全、規律ある集団行動などについて考え、判断し、実践している。	心身の健全な発達や健康の保持増進、運動などについて関心をもち、主体的に健康安全・体育的行事に取り組もうとしている。

(4) 遠足・集団宿泊的行事

よりよい生活や人間関係を築くための 知識・技能	集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする 態度
遠足・集団宿泊的行事の意義や、校外におけるよりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方、校外における集団生活の在り方、公衆道徳について理解している。	学校や学年の一員としての自覚をもち、平素と異なる生活環境の中でのよりよい人間関係や行動の在り方などについて考え、判断し、協働して実践している。	自然や文化などについて関心をもち、互いを思いやり、主体的に遠足・集団宿泊的行事に取り組もうとしている。

(5) 勤労生産・奉仕的行事

よりよい生活や人間関係を築くための 知識・技能	集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする 態度
勤労生産・奉仕的活動の意義や、勤労体験活動、ボランティア活動などの社会奉仕の精神、そのための活動の方法などについて理解している。	よりよい学校や学年の一員として自覚をもち、よりよい勤労や生産の在り方について考え、判断し、協働して実践している。	学校や地域社会などの公共のために役立つことや働くことに関心をもち、主体的に勤労生産・奉仕的行事に取り組もうとしている。

1 3 「学校評価の在り方ハンドブック」(小・中学校編)(7 ページ) より

特別活動の特質と学校の創意工夫を生かすということから、設置者ではなく、各学校が評価の観点を定めることとしています。その際、学習指導要領に示す特別活動の目標や学校として重点化した内容を踏まえ、……具体的に観点を示すことが考えられます。

1 4 第一学年 学級活動(2)(3)の年間指導計画 <<例示>>

- (1) 学級や学校における生活づくりへの参画
 - ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決
 - イ 学級内の組織づくりや役割の自覚
 - ウ 学校における多様な集団の生活の向上
- (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
 - ア 基本的な生活習慣の形成
 - イ よりよい人間関係の形成
 - ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成
 - エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成
- (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現
 - ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成
 - イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解
 - ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用

※以下、江戸川区立小学校教育研究会特別活動部で、まとめたものである。

	(2)日常生活や学習への適応と 自己の成長及び健康安全	(3)一人一人のキャリア形成と自己実現
1 学 期	ア きょうから1ねんせい ア げんきにあいさつ ア がっこうはたのしいな イ たのしいうんどうかい（遠足）にしよう ウ あめの日のすごしかた ウ じしんだ！かじだ！あわてるな！	ア クラスのもくひょうをきめよう ア たのしいなつやすみ（めあてをもって） イ きゅうしょくとうばんありがとう ア クラスのもくひょうをふりかえろう
2 学 期	イ みんななかよく イ たのしいてらんかい（音楽会・学芸会）に しよう ウ 気をつけて歩こうよ エ たのしいきゅうしょく	ア たのしいなつやすみ（振り返り） イ いつもピカピカそうじとうばん ウ がっこうとしょかん ア クラスのもくひょうをふりかえろう ア たのしいふゆやすみ（めあて）
3 学 期	ウ さむさにまけず、げんきにすごそう エ おいしいきゅうしょくのこさずに！	ア たのしいふゆやすみ（振り返り） ウ おはなしめいじんになろう イ じぶんたちにできるしごとをさがそう ア もうすぐ2ねんせい！ ア クラスのもくひょうをふりかえろう

学級・学校の実態に応じて、10単位時間を目安に題材を吟味し、取捨選択する。

第2学年～第6学年の年間指導計画は、C4 t hの書庫にあります。